



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社芝浦電子 上場取引所 東
コード番号 6957 URL <https://www.shibaura-e.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長社長執行役員 (氏名) 葛西 晃
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 星ノ谷 行秀 (TEL) 048-615-4000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期第1四半期 | 8,442 | 2.4 | 1,159 | △15.7 | 1,121 | △23.2 | 140 | △85.1 |
| 2025年3月期第1四半期 | 8,247 | 4.5 | 1,376 | 6.6 | 1,460 | 8.0 | 945 | 8.4 |

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 105百万円 (△94.1%) 2025年3月期第1四半期 1,807百万円 (58.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期第1四半期 | 9.33 | — |
| 2025年3月期第1四半期 | 62.24 | — |

※2024年7月1日付で当社普通株式を1株につき2株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年3月期第1四半期 | 42,694 | 34,746 | 81.3 |
| 2025年3月期 | 44,541 | 36,927 | 82.8 |

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 34,717百万円 2025年3月期 36,899百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | 150.00 | 150.00 |
| 2026年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2026年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2026年3月期(予想)の配当金は未定です。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 16,800 | 0.1 | 2,450 | △10.8 | 2,400 | △9.5 | 1,000 | △43.2 | 66.33 |
| 通期 | 35,000 | 2.9 | 6,000 | 10.2 | 6,000 | 10.5 | 3,500 | △6.6 | 232.17 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期1Q | 15,559,730株 | 2025年3月期 | 15,559,730株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期1Q | 484,411株 | 2025年3月期 | 484,227株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年3月期1Q | 15,075,376株 | 2025年3月期1Q | 15,194,152株 |

- (注) 1 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が所有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。
 2 当社は、2024年7月1日付で当社普通株式を1株につき2株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (セグメント情報等の注記) | P. 9 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | P. 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国の金融政策を背景とした物価動向や、ウクライナおよび中東地域の地政学的リスクに加え、米国の通商政策等の影響により不透明感が強まっております。米国では、雇用環境及び個人の購買力の低下が見られ、また通商政策の影響による景気後退も懸念されます。欧州では、生産活動は低下した一方、個人消費が底堅く推移し、景気を下支えしました。中国では、景気刺激策による好調な個人消費により景気は回復基調にあります。不動産市場の低迷や米国の通商政策等により景気後退が懸念されております。国内経済においては、米国の通商政策の着地点が見えつつある一方で、為替変動による物価の変動、更には世界的な景気後退への懸念が残っておりますが、企業業績の回復を背景に景気は堅調に推移しております。当社の属する電子部品業界では、前年に引き続きエアコン向け製品の需要も回復に向かっております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画(2024-2026)の達成に向けて取り組んでおり、長期的な経営構想を立て、新たな価値を創造することを目指しています。そのための経営基盤として製品開発、生産性向上、マーケティングに注力します。技術面である製品開発につきましては、お客さまのニーズを超える製品を開発し、顧客満足度の向上及び技術革新に繋げ、新製品の開発、新市場の拡大を目指します。製造面での生産性向上につきましては、AIやロボットを導入した製造設備の研究・開発や継続的な改善活動、また海外工場へのライン移管、多直化により生産性向上を目指します。引き続き原材料調達については、グローバル調達を推進し、リードタイムの短縮や材料調達コスト削減等、コストを抑え安定的に供給出来る体制づくりを進めております。

マーケティングにつきましては、全世界のお客さまとの連携によるシナジー効果を創出し、新分野や新市場の開拓、新製品開発等に繋げてまいります。また、引き続きEV/HVへの販売拡大を中心とし、加えて環境規制やエネルギー効率化に関わる分野へも積極的に営業活動を展開しております。

事業分野毎の実績につきましては、ホームアプライアンスではエアコン向けセンサが回復している一方で、電子レンジやコーヒーメーカー等の調理機器用センサや理美容向け素子の販売が減少しました。オートモーティブでは引き続き電動化推進等により、EV/HV用モーター向けセンサの販売が増加しました。インダストリアルでは汎用インバータ向け素子の販売が増加しました。

今後の取り組みとしましては、事業拡大に伴う本社機能の充実や社員の働きやすさの向上、優秀な人財の確保を目的とし、2026年1月を目途に自社保有の社屋に移転する予定です。人的資本に関する投資では、働き方の多様化への対応や人材育成、ダイバーシティ推進、社員の健康増進支援等を進めた結果、健康経営優良法人の認定を受けました。また、ガバナンス強化、二酸化炭素排出量削減等のESG課題にも積極的に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

(単位：百万円)

| | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|------------------|------------------|------|--------|
| 売上高 | 8,247 | 8,442 | 195 | 2.4% |
| 営業利益 | 1,376 | 1,159 | △216 | △15.7% |
| 経常利益 | 1,460 | 1,121 | △339 | △23.2% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 945 | 140 | △804 | △85.1% |

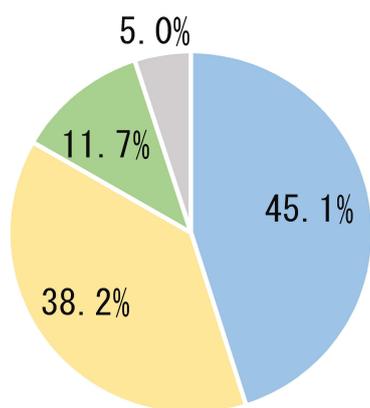
各事業分野の売上高は、以下のとおりであります。

事業分野別売上高

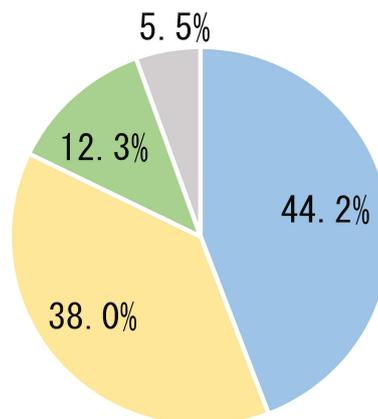
(単位：百万円)

| 事業分野 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|------------|------------------|------------------|-----|-------|
| ホームアプライアンス | 3,723 | 3,731 | 7 | 0.2% |
| オートモーティブ | 3,148 | 3,210 | 62 | 2.0% |
| インダストリアル | 962 | 1,036 | 74 | 7.7% |
| その他 | 413 | 464 | 50 | 12.3% |
| 計 | 8,247 | 8,442 | 195 | 2.4% |

前第1四半期連結累計期間売上高構成比

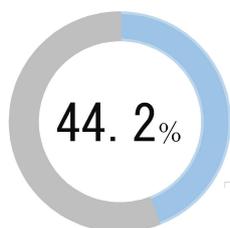


当第1四半期連結累計期間売上高構成比

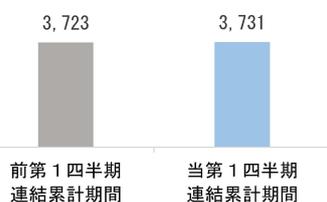


■ ホームアプライアンス ■ オートモーティブ ■ インダストリアル ■ その他

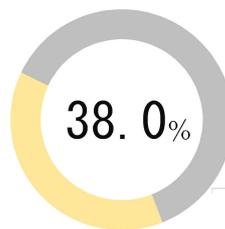
■ ホームアプライアンス
● 売上高構成比



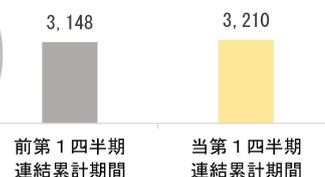
● 売上高 (単位: 百万円)



■ オートモーティブ
● 売上高構成比



● 売上高 (単位: 百万円)



■ インダストリアル
● 売上高構成比



● 売上高 (単位: 百万円)



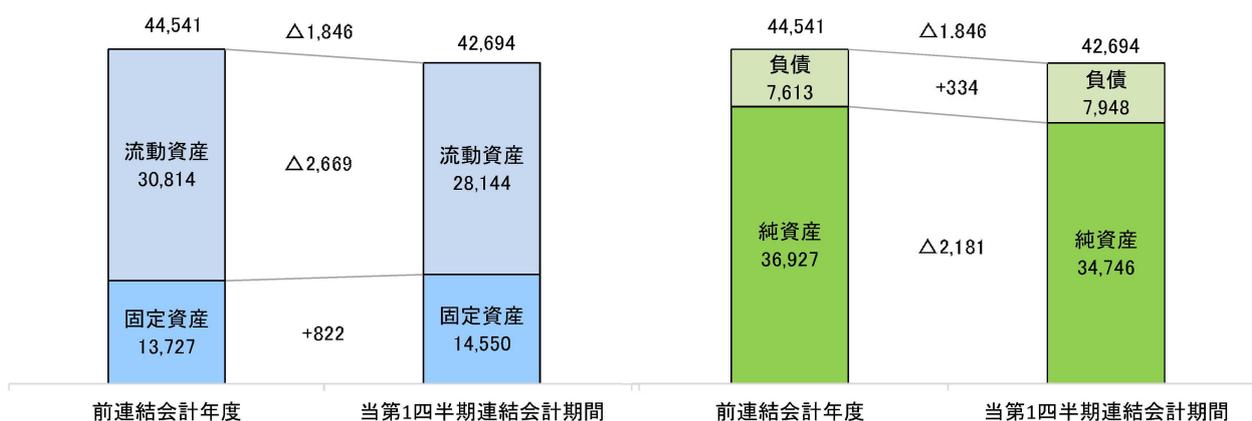
(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の連結財政状態は以下の通りとなりました。

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 | 当第1四半期 連結会計期間 | 増減 |
|-------|---------|------------------|--------|
| 資産合計 | 44,541 | 42,694 | △1,846 |
| 流動資産 | 30,814 | 28,144 | △2,669 |
| 固定資産 | 13,727 | 14,550 | +822 |
| 負債合計 | 7,613 | 7,948 | +334 |
| 純資産合計 | 36,927 | 34,746 | △2,181 |

(単位:百万円)



(資産)

当第1四半期連結会計期間の流動資産は、前連結会計年度比で2,669百万円減少しました。原材料及び貯蔵品が170百万円増加した一方、現金及び預金が1,823百万円、流動資産その他の中の未収消費税が767百万円、受取手形及び売掛金が403百万円減少しました。

固定資産は前連結会計年度比で822百万円増加しました。国内外各社の製造設備部材購入及び製造設備導入や新本社屋建設等により、固定資産その他の中の建設仮勘定が733百万円、機械装置及び運搬具が120百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度比で334百万円増加しました。未払法人税等が549百万円、賞与引当金が271百万円減少した一方で、流動負債その他の中の未払費用が605百万円、買掛金が387百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度比で2,181百万円減少しました。配当金の支払い等により利益剰余金が2,145百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第1四半期の業績結果を踏まえ、2025年5月9日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の2026年3月期第2四半期(累計)予想を修正しております。第2四半期以降の業績予想は予断を許さないところではありますが、現在の見通しでは業績は回復していく見込みです。詳細につきましては、本日(2025年8月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,461 | 10,638 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,560 | 6,156 |
| 電子記録債権 | 1,816 | 1,803 |
| 商品及び製品 | 2,565 | 2,619 |
| 仕掛品 | 4,066 | 4,141 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,756 | 1,927 |
| その他 | 1,586 | 857 |
| 流動資産合計 | 30,814 | 28,144 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,407 | 4,332 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,169 | 3,290 |
| その他（純額） | 4,053 | 4,780 |
| 有形固定資産合計 | 11,630 | 12,404 |
| 無形固定資産 | 94 | 90 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 482 | 430 |
| 退職給付に係る資産 | 921 | 955 |
| その他 | 598 | 669 |
| 貸倒引当金 | △0 | - |
| 投資その他の資産合計 | 2,002 | 2,055 |
| 固定資産合計 | 13,727 | 14,550 |
| 資産合計 | 44,541 | 42,694 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,801 | 4,188 |
| 短期借入金 | 297 | 147 |
| 未払法人税等 | 792 | 243 |
| 賞与引当金 | 582 | 310 |
| 役員賞与引当金 | 60 | 22 |
| その他 | 1,694 | 2,584 |
| 流動負債合計 | 7,229 | 7,497 |
| 固定負債 | | |
| 役員報酬BIP信託引当金 | 135 | 140 |
| 退職給付に係る負債 | 152 | 150 |
| その他 | 96 | 159 |
| 固定負債合計 | 384 | 450 |
| 負債合計 | 7,613 | 7,948 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,144 | 2,144 |
| 資本剰余金 | 2,166 | 2,166 |
| 利益剰余金 | 30,147 | 28,001 |
| 自己株式 | △1,248 | △1,248 |
| 株主資本合計 | 33,210 | 31,064 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 289 | 254 |
| 為替換算調整勘定 | 3,298 | 3,299 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 101 | 99 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,689 | 3,653 |
| 非支配株主持分 | 28 | 28 |
| 純資産合計 | 36,927 | 34,746 |
| 負債純資産合計 | 44,541 | 42,694 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 8,247 | 8,442 |
| 売上原価 | 5,872 | 6,129 |
| 売上総利益 | 2,374 | 2,313 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び賞与 | 285 | 401 |
| 賞与引当金繰入額 | 72 | 77 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 15 | 22 |
| 退職給付費用 | 2 | △7 |
| 役員報酬B I P信託引当金繰入額 | 4 | 5 |
| その他 | 617 | 654 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 998 | 1,153 |
| 営業利益 | 1,376 | 1,159 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 4 | 5 |
| 為替差益 | 76 | - |
| 受取地代家賃 | 7 | 7 |
| 助成金収入 | 1 | 1 |
| その他 | 3 | 10 |
| 営業外収益合計 | 95 | 26 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 為替差損 | - | 58 |
| 譲渡制限付株式報酬償却 | 5 | - |
| その他 | 4 | 6 |
| 営業外費用合計 | 10 | 65 |
| 経常利益 | 1,460 | 1,121 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 5 |
| 特別利益合計 | - | 5 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 2 | 0 |
| 公開買付関連費用 | - | 798 |
| 特別損失合計 | 2 | 799 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,458 | 327 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 602 | 189 |
| 法人税等調整額 | △90 | △3 |
| 法人税等合計 | 511 | 185 |
| 四半期純利益 | 946 | 141 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 945 | 140 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 946 | 141 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 46 | △35 |
| 為替換算調整勘定 | 816 | 1 |
| 退職給付に係る調整額 | △2 | △2 |
| その他の包括利益合計 | 860 | △35 |
| 四半期包括利益 | 1,807 | 105 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,806 | 105 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|------|--------|
| | 日本 | アジア | ヨーロッパ | アメリカ | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,838 | 2,848 | 259 | 301 | 8,247 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,346 | 1,735 | 39 | 1 | 3,121 |
| 計 | 6,184 | 4,583 | 298 | 302 | 11,368 |
| セグメント利益 | 1,298 | 275 | 26 | 11 | 1,611 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,611 |
| セグメント間取引消去 | △5 |
| 全社費用(注) | △229 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,376 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|------|--------|
| | 日本 | アジア | ヨーロッパ | アメリカ | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,075 | 2,850 | 220 | 296 | 8,442 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,515 | 1,923 | 36 | 0 | 3,476 |
| 計 | 6,590 | 4,773 | 257 | 297 | 11,918 |
| セグメント利益 | 1,332 | 246 | 2 | 2 | 1,584 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,584 |
| セグメント間取引消去 | △59 |
| 全社費用(注) | △365 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,159 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 392百万円 | 375百万円 |